

HIGASHIOSAKA CENTRAL ROTARY CLUB

(第 2660 地区)

WEEKLY BULLETIN

No.16

東大阪中央ロータリークラブ

創立 昭和47年2月20日
例会日 毎週月曜日 12:30~
例会場所 シェラトン都ホテル大阪3F
事務局 東大阪市小阪本町1丁目5-14
〒577-0802 小阪本町ロイヤルハイツ405号
TEL: 06-6753-8823
FAX: 06-6753-8826
E-mail: jahcrc@gmail.com



会長 佐井 義 昌
会長ノミニー 岡 本 慎 一
副 会 長 佐 藤 三千秋
幹 事 浅 野 光 男
会報委員長 岩 橋 竜 介

ROTARY CONNECTS THE WORLD

ロータリーは世界をつなぐ

2019~2020 年度 国際ロータリー会長 マーク・ダニエル・マローニー

第 2136 回例会 令和元年 12 月 9 日 (月曜日) 第 16 号

本日の例会 12月9日(月) 第1例会

- ソング 『限りなき道ロータリー』
- 会長年末挨拶 会長 佐井 義昌
- 本日の献立 軽食カレー

次回の例会 12月15日(土) **夜** 第2例会

クリスマス家族会

時間: 17:30~移動例会 18:00~クリスマス会

場所: シェラトン都ホテル 3階 「葛城の間」

前回の例会 11月18日(月) 第2例会

- ゲスト 大阪城南RC 泉 浩一様

会長挨拶 会長 佐井 義昌

11月はロータリー月間です。

皆様には、日頃から、ロータリー財団の活動にご理解とご協力をいただき、誠に有難うございます。

ロータリー財団の目標は、博愛、慈善、教育など多様な分野におけるプログラムの促進を通じて、さまざまな国の方々に理解と友好的な関係を築いていただくことです。

そして、ロータリー財団の使命は、地域レベル、全国レベルを通じて、ロータリーの綱領とロータリーの使命を遂行し、ひいては世界平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支援することにあります。

さて、先週15日に東輪会ゴルフ大会が、太子カントリークラブにて開催されました。東大阪西ロータリークラブが東輪会ホストを担当され、我がクラブの藤原会員、浅野会員、岩崎会員、細川会員、小川会員、金子会員、伊藤会員が参加しました。結果は後ほど小川委員長から皆様に報告します。

幹事報告

浅野 光男

1. 本日、例会終了後に第5回定例理事役員会をシェラトン2階「ゆう」にて開催致します。理事役員の皆様にはよろしくお願ひいたします。
2. 11月28日(木)に開催致します第2回情報集会の回覧を回しております、ご出欠のご記入をよろしくお願ひいたします。
3. 11月30日(土)に公共イメージ向上並びにクラブビジョン策定セミナーが大阪YMCA大ホールで開催されます。佐井会長、岡本会長エレクトにご参加していただけます。よろしくお願ひいたします。
4. 12月14日(金)15日(土)にリーガロイヤルホテル、国際会議場におきまして開催されます、地区大会の入場用名札をポストに配布しております。当日は必ず忘れずにご持参下さいますようお願いいたします。
5. 次回の例会は12月9日(月)で、早や、会長年末挨拶です。間が空きますのでお間違えの無いようにご確認をお願い致します。11月28日は情報集会が18:30よりあります。
6. 近々に12月21日(土)のクリスマス家族会のお知らせをご自宅に郵送させていただきます。ご家族、ご友人をお誘いの上、多数ご出席下さいますようお願い致します。

出席報告

小川 委員長

本日の会員数	19名
本日の出席者数	16名
本日の出席規定適用免除会員	11名
本日の出席率	88.24%

10月21日の修正出席率 100.00%

メイクアップの報告

岡本慎一会員が11月13日に東大阪RCの例会に出席されました。

ニコニコ箱報告 SAA 伊藤 雄一

- 八尾RC 相馬 康人様
本日、お邪魔させて頂きました。
よろしく申し上げます。
- 佐井会長 岩佐委員長と相馬委員、ようこそおい
で下さいました。卓話をよろしくお願
いします。
- 小川会員 先日の東輪会ゴルフコンペにて優勝致
しました。
- 金子会員 先日の東輪会ゴルフコンペで団体優勝
できました。
私のスコアは全然でしたが、17番ホー
ルパー4、278ヤード、ミドルホールで
ワンオン、3メートルのイーグルパット
をはずしバーディでした。
- 岡本会員 地区ロータリー財団委員会 岩佐様、
相馬様、本日の卓話よろしくお願
い致します。先日、初めて東大阪RCにメ
イクアップに行きました。瀧田さんの話
をメンバーの方からお聞きしたいへ
ん懐かしく思いました。

卓話 担当：岡本 慎一

地区ロータリー財団委員会
資金推進小委員会 委員長 岩佐 嘉昭様 (東大阪 RC)
奨学金小委員会 委員 相馬 康人様 (八尾 RC)

地区ロータリー財団委員会

- 地区ロータリー財団委員長 ⇒ 福家委員長
- ポリオ・プラス小委員会 ⇒ 高士委員長
- 資金管理小委員会 ⇒ 瀬川委員長
- 補助金小委員会 ⇒ 村橋委員長
- 資金推進小委員会 ⇒ 岩佐委員長
- 奨学金小委員会 ⇒ 柳山委員長

I. 財団のあゆみ



1917-18 RI 会長 アーチ・クランプ
(ロータリー財団の父)

1917年アトランタ国際大会
『世界でよいことをしよう』

1917	国際ロータリー連合会基金
1928	ロータリー財団(ロータリー傘下の別組織)
1947	初の奨学金制度導入
1965	人道奉仕や職業研修のための補助金など
1978	3H補助金(保健・飢餓追放・人間性尊重)
2002	ロータリー平和フェロー奨学金
2013	来の夢計画…地区補助金・グローバル補助金

II. 財団のプログラム

- ① ポリオ根絶活動
- ② ロータリー平和センター
- ③ 補助金プログラム

II. プログラム…ロータリー平和センター

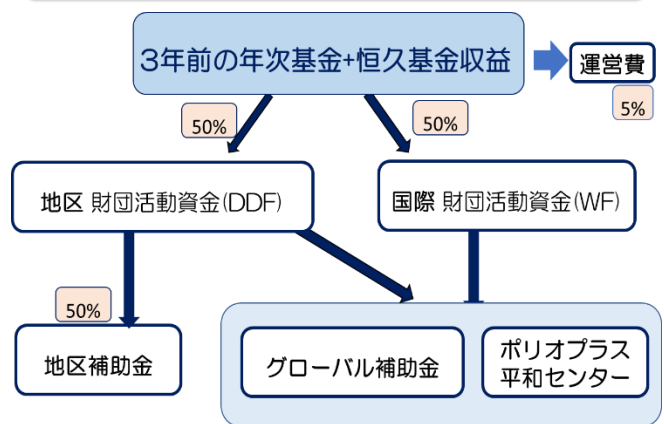


- ◆ 平和活動に貢献する人材に奨学金を提供
- ◆ 修士課程プログラム・専門修了証プログラム
- ◆ ロータリー平和センター(7大学)
- ◆ 世界競争性(Max.100名/年)
- ◆ 平和分野で学業・職業・ボランティア経験要

II. プログラム…補助金

地区補助金	グローバル補助金	災害救援補助金
人道奉仕・奨学金・職業研修		
<ul style="list-style-type: none"> ・社会奉仕および国際奉仕 ・小規模および短期 ・地区が管理し配分 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際奉仕 ・\$30,000以上 ・6重点分野 ・持続性 	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年4月に新設 ・被災地区が利用可能 ・財団の災害救援基金に備えがあれば最高25,000ドルまで申請可能 ・申請は地区が行う

III. シェアシステム



今年度 財団の目標

- I. ポリオ根絶
- II. 6重点分野の奉仕活動の持続可能性を高めよう
- III. DDFを最大限利用しよう
- IV. 恒久基金寄付を増やそう財団は自分たちのもの

I. ポリオ根絶

- ・最優先事項
- ・ロータリーは世界の子供たちにポリオ撲滅を約束した
- ・約30年間取り組んで来た
- ・ポリオ症例数は99.9%以上減少
- ・これからも全力を注いで約束を果たさなくてはならない

III. DDFを最大限活用

- ・毎年DDFを最大限利用し、世界でもっと「良いこと」をするように全地区に奨励したい
- ・DDFは地区補助金、グローバル補助金、ポリオプラスへの寄贈、平和センターへの寄贈などの活用方法がある
- ・各クラブの皆様は地区補助金やグローバル補助金を大いに活用して頂きたい

IV. 恒久基金を増やそう

- ・現在 11億ドル強
- ・2025年までに 20億2500万ドルを目標とする
- ・これはロータリーの活動の基盤となる
- ・チャリティー・ナビゲーターによる最高の格付けを今後も続けるためにも
- ・ロータリーのプログラムが後世にも永久に人々を救っていく経済基盤となる

財団寄付と認証

財団資金推進小委員会
委員長 岩佐 嘉昭
(東大阪RC)

財団への寄付推進

2019-20年度 年次基金寄付 目標

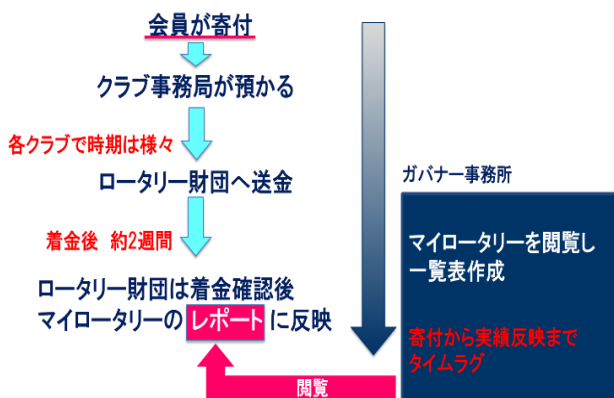
1人当り **\$150** 以上を!!

2019-20年度 恒久基金寄付 目標

各クラブで **1人以上** のベネフェクターを!

2019-20年度 ポリオプラス 目標

1人当り **\$50** 以上を!



公益財団法人 ロータリー日本財団 (2010.12.24)

ロータリー財団の協力団体

「特定公益増進法人」への寄付金として取り扱われ、
税制上の優遇措置の対象

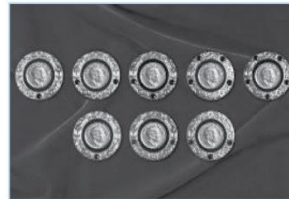
「所得控除」または「税額控除」

確定申告用領収証の発送時期 (所属クラブ宛)

7~12月分 翌年1月末

1~6月分 同年7月末

財団寄付の認証



財団寄付の認証

ホール・ハリス・フェロー:

**年次基金、ポリオプラス、
財団承認補助金に、
累計\$1,000以上寄付
その後、\$1,000毎**

マルチプル・ホール・ハリス・フェロー:

ベネファクター: **恒久基金**に累計\$1,000以上寄付

マジヤードナー: **分類に関係なく**累計\$10,000以上寄付

アーチ・クランフ・ソサエティ: **分類に関係なく**累計\$250,000以上寄付

2018年7月現在

財団補助金

財団補助金小委員会
委員長 村橋 義晃
(大阪中之島RC)

第2660地区 地区ビジョン (中期目標)

1. クラブのサポートと強化

2. 人道的奉仕の重点化と増加

- ◆ ニーズを把握し人々と共に手をつなぎ、成果の持続可能な奉仕を強化します。
- ◆ 財団補助金の利用実績50件を目指します。
- ◆ ロータリー財団及び米山記念奨学会への寄付を推進し、寄付ゼロクラブを無くします。

3. 公共イメージと認知度の向上

財団補助金の種類と特色

補助金	概要
地区補助金 DG=District Grants	* 国内外 における小規模・短期の奉仕活動 *クラブは地区に申請 (地区裁量)
グローバル補助金 GG=Global Grants	* 海外 における大規模で成果の継続性のある活動 (3万ドル以上) * 6重点分野 *クラブは財団に申請。但し、DDF (地区財団活動資金) は地区に申請
ロータリー 災害救援補助金	*被災地区の復興活動 2019年度より開始

6重点分野

 基本的教育と識字率向上	 地域社会の経済発展
 平和構築と紛争予防	 母子の健康
 疾病予防と治療	 水と衛生

グローバル補助金 承認のポイント

実施国代表提唱 クラブの役割	<ul style="list-style-type: none"> 財団が定めた地域調査の実施と報告 補助金管理 期限内の報告書の提出
成果の継続性	<ul style="list-style-type: none"> 物品や設備に寄贈だけでは受領資格がない 教育的プログラム (研修) を含む活動 地域住民による継続が可能な活動の立案
財源	<ul style="list-style-type: none"> 補助金活動完了後も地元が資金を調達できる仕組みが望ましい

財団奨学金プログラム

財団奨学金小委員会
(平和フェローシップ)
委員長 柳山 稔
(東大阪西RC)

奨学金プログラムのご紹介

ロータリー財団とクラブは奨学金を通じて地域や世界で活躍できるリーダーを育てています

地区補助金奨学生

グローバル補助金奨学生

平和フェローシップ

クラブ独自の奨学金

地区補助金奨学生

教育機関レベルや場所、専攻分野の制約なし。
クラブが地区補助金を利用して提供される奨学金です。

奨学金プログラム名称	「地区補助金奨学生」
奨学金授与期間	最大1年間
地区補助金申請額	20万円～60万円 ※年次基金寄付実績により実際補助金額は変化する場合があります
支給対象	制約なし
就学対象	制約なし
対象分野	制約なし
特記事項	ロータリー会員が直接/間接的に利益受領不可
拠出財源	地区財団活動資金 (DDF) 及びクラブ拠出金 ※クラブ拠出金は地区補助金申請額同額以上必要です

次の文書の最新版を必ずご確認ください「授与と受託の条件」「補助金ハンドブック」
「地区補助金による奨学金 ベストプラクティス」

グローバル補助金奨学生

6重点分野のひとつ、もしくは複数に関連する大学院レベルの研究にグローバル補助金を利用して提供される奨学金です

奨学金プログラム名称	「グローバル補助金奨学生」
奨学金授与期間	最大2年間
申請奨学金額	30,000米ドル以上
支給対象	渡航費・授業料・住居生活費など
就学対象	大学院レベル
対象分野	6重点分野ひとつ、もしくは複数であること
特記事項	ロータリー会員、職員、及びその家族は非資格者
拠出財源	地区財団活動資金 (DDF) 及び世界財団活動資金 (WF) ※クラブ提唱の場合必ずしもDDF申請額の10%拠出は必要なし

次の文書の最新版を必ずご確認ください「授与と受託の条件」「補助金ハンドブック」
「グローバル補助金による奨学金 補足資料」「地区グローバル奨学生募集要綱」

平和フェローシップ

ロータリー財団はロータリー平和センターで学ぶことを強く望む世界競争制で選ばれた最高100人/年の奨学生に対し提供される奨学金です

奨学金プログラム名称	「ロータリー平和フェローシップ」
奨学金授与期間	修士号：15-24カ月/専門：3か月間
支給奨学金額	修士号：平均75,000米ドル/専門：平均11,000米ドル
支給対象	渡航費・授業料・住居生活費など
就学対象	ロータリー平和センター 提携世界7大学6か所のいずれか
対象分野	平和構築と紛争予防
特記事項	ロータリー会員、職員、及びその家族は非資格者
拠出財源	世界財団活動資金 (WF)

次の文書の最新版を必ずご確認ください「MyRotary：ロータリー平和フェローシップの申請」
「平和センタープログラム～ロータリアンのための手引き」「地区平和フェローシップ募集要綱」

ロータリー平和フェロー

2002年の制度開始より当地区2人目の平和フェローシップとなられた山口真理子さんがスウェーデン/ウプサラ大学へご出発されました



